



# 今庄宿プロジェクト

## 今庄宿地区伝統的建造物群保存対策調査を実施しています。

今庄宿の伝統的建造物群およびこれと一体をなして、その価値を形成している環境の保存対策を調査しています。京都府立大学大学院や立命館大学、そして地元の福井工業大学の教授や学生の皆さん約30名が、県の職員とともに複数班に分かれ、今庄宿の代表的な民家や酒蔵など所有者のご理解とご協力をいただいて規模や特徴などを調査しています。第1回目の調査は5月3日から5日にかけて、第2回目は6月2日から4日にかけて、第3回目は7月14日から17日に実施しました。引き続き調査は実施する予定です。

今後とも調査実施にあたりまして地域住民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

## 今庄宿プロジェクト協議会 平成29年度取組み

5月30日に今庄宿プロジェクト協議会運営委員会が開催され平成29年度に取り組む事業について協議されました。本年度は今庄宿プロジェクト事業の最終年度で、地域資源を活用した「宿の市」や「酒蔵ふえす」の開催や地元産物を利用した新商品の開発を手掛けます。

また、福井の伝統的民家の指定を促進するために、民家の模型を製作します。そのほかにも古文書等の調査研究や保存、今庄宿の情報発信のためにホームページの更新や、今庄宿に関わる知識を多くの方に深めていただくために今庄宿を訪れた歴史上で著名な人物を紹介するパンフレットを製作し、効果的な事業執行に取り組めます。

### 「今庄宿」豆知識 その13 「明治殿」

今庄宿の中心部に位置する公德園は、春には桜が咲き町民憩いの場となっています。

明治殿は、明治11年に明治天皇が北陸御巡幸の際に、現在の公德園にあった後藤家が行在所(天皇の外出時の仮の宮)となり、宿泊されたことを記念し、昭和7年に建てられたものです。そのため「明治殿」と呼ばれ親しまれています。当時の後藤家のお居間を移し明治殿を建てたと言われていますが、幕末当時の後藤家座敷にあった床の間や違い棚が明治殿にはないことから、座敷をそっくりそのまま再現したわけではなさそうです。

座敷まわりの板の間よりも座敷部分は一段高くなっており、天皇が座る玉座も置かれており、明治天皇が座られている様子が想像できます。



問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013 [きとつけ今庄 今庄宿プロジェクト](#) [検索](#)



### 「代表的な湧水」

#### ① 鶯清水(西大道)

「ぶくいのおいしい水」

平成18年3月23日福井県認定

JR南条駅の線路を挟んだ西側にあります。昔から北

陸道の街道沿いにあり、旅の疲れを癒す憩いの水として親しまれ、朝倉孝景も1474年(文明6年)の柚山合戦の際、ここで休息したと伝えられています。また、明治11年の明治天皇北陸御巡幸の際、御小休所となった中山家は、この水をご用水として供したといわれています。



#### ② コツラの清水(南今庄)

JR今庄駅から敦賀方面に500mほど歩くと、今庄宿の南端に「文政の道しるべ」があります。この場所から鹿森川上流を見て右側に通じる旧北陸道を5分ほど歩くと右手にあります。年中冷たい泉が湧き出ています。不動明王を祀っており、この水を飲むと必ず安産すると語り伝えられています。



いずれも昔から街道を歩く旅人の喉を潤してきたことでしょう。水道が完備された現代では忘れがちになるこうした名水ですが、現在も地元の人々によって大切にされています。

問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-80002